

「読みたいときに、読みたい本をよめばいい。」

理科 桐山浩之

小学校の頃から、家にいろいろな種類の本が本棚にたくさんあった。読書感想文の推薦図書や伝記、文学書、百科事典などが並んでいた。多分、小学校の教師をしていた母親が「読書は大切だ。読書を習慣にしてほしい。」と考えて、いろいろな種類の本を購入していたのだと思う。しかし、自分はほとんどの本は手にも取らず、百科事典の生物に関するところしか見た記憶がない。しかも写真や図解を中心として同じ本を何度も読むというより、見ていた。高校に入学してからは、列車通学で部活動のため帰りも遅くなることから読書の時間などなかった。

それでも、高校3年生の頃に映画やテレビ番組の影響もあり、**横溝正史**にはまった。金田一耕助を探偵役とした推理小説である。「本陣殺人事件」、「獄門島」、「八つ墓村」、「犬神家の一族」、「悪魔の手鞠唄」など金田一耕助シリーズはすべて読んだと思う。次に「**内田康夫**」と「**西村京太郎**」にはまってしまった。内田康夫は、旅情ミステリー作家であり、浅見光彦シリーズが人気である。西村京太郎は、十津川警部が難事件を解決するトラベルミステリーがある。本屋さんに並んでいるこの二人の作家の本は、すべて読んだと思う。さて、次はどの作家の本をと、色々と手に取ってみるのだがなかなかみつからない。

しかし、自分は読書家か？と考えるとそうは思えない。少なからずいるだろう、「本を読みなさい」と言われても読むことができない生徒の気持ちはよくわかる。

読書について、改めて考えてみると、もっと幼い頃からいろいろな種類の本をたくさん読んでいれば、文章力ももっとついたのではないかと思う。それも中高校生にお勧めの本などを読めば、たぶんためになったに違いない。しかし、人はそれぞれである。その人が、いつ、どんな本に出会い魅かれるか。それは他人には決められないし、面白いと思えない本は読めないものだ。とにかく本を手にとってみよう。読書をあまり堅苦しく考えず、読みたいときに読みたい本を読めばいいではないか。ジャンルを問わず、本を読むことでいろいろな知識を得ることができ、読み終えたときの充実感や達成感を味わえることができるだろう。

「横溝正史」「内田康夫」「西村京太郎」の作品は本校の図書館にもたくさんあります。

ぜひ、ご覧あれ！

# ☆ 貸出し冊数 3.4冊 ☆

6月末までの一人あたりの平均貸出し冊数です。(昨年度は、コロナの影響で1学期の学校開校日が少なかったなので、)一昨年度と比べると一昨年度は、貸出し冊数が1.8冊でしたので、かなりの貸出し冊数UP!

そして、すでに「年間目標貸出数6冊」を達成している学級もあります。

1年2組 14.0冊                      2年3組 7.3冊                      2年4組 9.2冊  
4年2組 6.4冊                      なんと、素晴らしい!!

夏休みは、いつもよりは読書の時間がとりやすいと思います。ぜひ、本に親しんでみてください。また、7月15日には、宇和島市立図書館の電子図書館も開館する予定だそうです。事前の手続きさえ済ましておけば、自宅で電子書籍を読むことができます。ぜひ宇和島市立図書館のホームページも、チェックしてみてください。

## ～7月の新刊紹介～

- 『琥珀の夏』 辻村深月
- 【著】
- 『金の角持つ子どもたち』 藤岡陽子
- 【著】
- 『怪盗探偵山猫(6) 深紅の虎』 神永学 【著】
- 『5分後に意外な結末 パズルにも青春にも答えはある』 桃戸ハル
- 【著】
- 『ポリ袋でかんたん!ふりふりおやつ』 稲田多佳子
- 【著】
- 『空のふしぎのすべてがわかる!すごすぎる天気の本鑑』 荒木健太郎
- 【著】
- 『小説8050』 林真理子
- 【著】

## 夏休みの開館について

☆開館日 7月21日《水》～7月30日(金)  
(但し、木曜日は閉館します。)



- ☆開館時間 11:30～16:30
- ☆貸出しについて 貸出しの方法は通常と同じ、一人3冊までです。  
夏休み中は、貸出しが1週間を越えてもかま  
いません。
- ☆本の返却日 借りている本は、2学期の始業式（(8月25日《水》）  
に返却してください。